

くすりのしおり

注射剤

2019年11月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：トリノシンS 注射液 10mg

主成分：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和(Adenosine triphosphate disodium hydrate)

剤形：注射剤

シート記載：



この薬の作用と効果について

生体組織内の高エネルギー源として生理作用に関与しています。また、血管を拡張して血流を改善します。通常、頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善、心不全、筋ジストロフィー症およびその類縁疾患、急性灰白髄炎、脳性小児麻痺（弛緩型）、進行性脊髄性筋萎縮症およびその類縁疾患、調節性眼精疲労における調節機能の安定化、耳鳴・難聴、消化管機能低下のみられる慢性胃炎、慢性肝疾患における肝機能の改善の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。脳出血直後
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1日1～2回、静脈内、点滴で静脈内、筋肉内または皮下に注射します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、吐き気・嘔吐、食欲不振、一過性の動悸、頭痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・胸の痛み、吐き気、顔がほてって赤くなる [ショック様症状]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。